

新聞紙の形を変えて楽しもう ～しんぶんしとなかよし～ (第2学年)

1 目指す子供の姿

【互いに磨き合い、学び続ける子供の姿】

材料の形を変えて楽しく造形遊びをするために、感性や想像力を働かせ、対象や事象を形などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもって意味や価値をつくりだしながら、感覚や気持ちを生かして造形的な活動を工夫して、つくる。その活動を通してできた形について友達に紹介したり感じたことを伝え合ったりすることで、面白い形をつくる造形的な活動を思いついて行い、さらに他の材料や場面でも生かせるかを考えるなど、次の課題についても考え続けている。

知識・技能	学びに向かう力・人間性等	思考力・判断力・表現力等
造形遊びをする活動を通して、身近な材料の形に気付き、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ造形的な活動を工夫してつくる。	楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、視点を選んだりつくりだしたりするなどして楽しい生活を創造しようとする。	造形遊びをする活動を通して、身近な材料の形や自分のイメージなどを基に造形的な活動を思い付くことや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように造形的な活動をするかについて考える。

本題材では、子供たちにとって身近な新聞紙を材料に、広い空間を生かして思いついた形をつくり、つくりかえ、つくる造形遊びを行った。新聞紙を並べる・つなぐ・積むなどの造形的な活動を行いながら、材料の特徴などを感覚で捉えたり、形に対する気持ちが生じ、様々な形を捉えたりしていった。加えて、「くねくねしていてへびに見える」など、形から感じたイメージを基に、表したいことを思いつき、造形的な活動で生じた感覚を生かして表し方を工夫していた。例えば、新聞紙を細く破る感覚を楽しんだ子供が、その紙を長くつないでみた。そして、友達の色も取り入れてもっと面白い形にしようと、一部をぎざぎざの形にしたり丸めた形を付け足したりしてつくりかえていった。ぎざぎざの形にも様々な大きさや種類があることや、組み合わせると形が面白くなることに気付き、「ぎざぎざと渦巻きをつなぐと面白くなりそう」などと考え、さらに工夫をしてつくっていった。その後、友達とできた形を紹介し合いながら、「お化け屋敷ができた」「びりびりに破った形がたくさん垂れていて、本当に怖そう」「雷みたいな形やねじった形を足すともっと怖くなりそうだね」「いいね、もっと足して怖くしよう」などと、形を多様に変化させたり組み合わせたりする面白さ、形の特徴からイメージを広げる面白さをより感じられるような工夫を思いつき、表していった。また、身近な物が造形的な活動の材料になると気付き、「石を並べても面白い形ができそう」と他の材料を生かしたり、「形を変える遊びを家でもやりたい」などと家庭生活の中でも楽しい造形的な活動をつくりだそうとしたりした子供の姿も見られた。

2 子供の実態 (本題材に入るまで)

メタ認知に関する実態調査では、35名中28名は、学習への見通しをもったり学習を振り返って見直したりするなどのメタ認知を働かせることが難しい段階であることが分かっていた。図画工作科に関する実態調査では、友達からよさを見付けてまねたいなどと答えた子供は29名いた。自分の作品をよくするための方法を自由記述で問うと、「友達と関わる」などと答えた子供は18名であった。「自分でやってみる」などと答えた子供は15名と多いが、「作品を見直して考える」という回答は1名で、作品を見直すことが次の工夫につながると意識できている子供は少ないことが分かった。

3 メタ認知を促す働きかけ

(1) 課題解決中

本題材ではつくった形を次々とつくりかえるため、つくった形や見付けた形の面白さについての学びが残るよう、お気に入りの形と自分を一緒に写真に撮ってもらう活動を設定した。撮影する子供は、「どうしてそこがおすすめなの」と尋ね、気に入った理由を聞き、形の多様さや組み合わせの面白さ、感じたイメージ、もっとこうしたらどうかというアドバイス等を伝えた。そうすることで、「友達と話したら、自分の形のいいところが見つかった」「まねしたい工夫を見付けた」など、新しい工夫が見付かるなど、友達と協働するよさを感じていた。【記念写真撮影】(1～5時間目)

低学年の子供は、つくっているものを離れて見ようとはせず、部分的な視点で形を見ることが多い。そこで、自分や友達の形の全体を俯瞰的に見る視点をもたせるため、キリンになったつもりになる眼鏡をかけ、体育館全体を見て形を捉える時間を設定した。俯瞰的に見て、新しく見付けた形、感じたイメージなどの自分の考えを全体で交流し合う中で、「同じ形でも友達は違ったものに見ている」「今までと違った見方をしたら、より面白い形が見付かった」「違った見方を生かしてもっと面白い形をつくろう」など、形全体を見るよさに気付いていった。【キラリン眼鏡タイム】(3～6時間目)

(2) 課題解決後

教師はまず、「できたこと」という観点を示し、見付けた工夫を生かして製作できたことを表出させ称賛することで、始めより面白い形にできたという実感をもたせた。その後、「友達との関わり」や「俯瞰的に見るよさ」の観点で質問をすることで、「友達と話したから面白さが見付かった」「ステージの上から見たから今までと違うものが見えてよかった」という面白い形ができた理由を表出させた。さらに、全体交流を行い、友達と協働することや俯瞰的に見ることで、新しい工夫を見付けることができるよさがあることを共有していった。【質問タイム】(2, 4, 6時間目)


4 題材構成の工夫と学習の流れ(総時数 6時間)


まず、新聞紙からできた一つ一つの形をじっくりと見て、大きさや種類が様々になると形の面白さをより感じ、イメージが深まることに気付かせた。その後、活動できる空間を広げることで、様々な形をつなぐ等すると、よりイメージが広がったり深まったりする面白さを感じさせられる題材構成にした。

学習の流れ及び主な子供の意識	
第一	<p>①② 新聞紙の形をいろいろ変えて楽しもう</p> <p>図工室で、新聞紙を広げて体に巻きつける、破って頭に乗せる等、形を様々に変化させることで、身近な材料で楽しい造形遊びができることに気付いた。つくった形から、形を変化させる造形的な活動(破る・丸める・巻く・絞る・並べる等)の知識や、それらの形をつくる技能、形からイメージする具体的なものについて共有した。そして、もっと広い場所で面白い形をつくりたいという思いを共有し、次時の課題につないだ。</p>
	<p>③④⑤ もっと面白い形をつくって楽しもう (本時4/6)</p> <p>体育館で、前時の造形的な活動に加え、つなぐ・垂らす・重ねる等しながら、新しい造形的な活動の知識や、それらの形をつくる技能について共有した。そして、形を多様に変化させたり組み合わせたりする面白さや、形の特徴からイメージが広がる面白さを感じた。それらを基に、表したいことを思い付き、表し方を考えながら、形をつくり、つくりかえ、つくった。製作途中には、つくった形を友達と写真に撮り合ったり、ステージ上から俯瞰的に見てよさを伝え合ったりした。</p>
第二	<p>⑥ つくった形を見せ合って楽しもう</p> <p>みんながつくった形を鑑賞した。迷路のような道をみんなを通ったり、つくった形の中に入ったり、垂らした形の中をくぐり抜けたりする等、体全体で形の面白さを味わう活動を行い楽しんだ。このような鑑賞活動を行うことで、他の材料でも面白い形をつくりたい、家でも形を変える遊びをして楽しみたい等と、他の材料や生活の中でもやってみたいと考えるようになった。</p>

5 本時における子供たちの姿（4/6時間、**支**：支援員）

新聞紙でつくった形や自分のイメージを基に、自分の感覚や気持ちを生かして、表したいことを思い付き、どのように表すかを考えてつくり、つくった形を友達と見せ合いながら、形には様々な大きさや種類があることに気付き、より面白い形をつくるために、表し方を工夫しようとすることを目指した。

学習活動	授業の詳細と主な子供の意識
<p>課題設定以前 〈学習活動1〉 前時を振り返り、本時の学習課題を確認する。</p>	<p>前時までに子供たちは、図工室で新聞紙を体に巻き付けたり、破って頭に乗せるなどの活動をした。その中で子供たちは、もっと広い場所で面白い形をつくりたいという思いをもち、体育館へ活動場所を移した。体育館では、新聞紙を広げる、並べる、つなぐ、垂らすなどの造形的な活動にとりかかり、面白い形をつくっている途中となっていた。本時は、前時の終わりに、形に付け足したり変えたり、友達の表し方をまねたりしてもっと面白くしたいという思いから学習課題を設定したことを確認した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>もっと面白い形をつくって楽しもう</p> </div>
<p>課題解決中 〈学習活動2〉 表し方を工夫してつくる。</p>	<p>製作中は、タブレットを班で1台共有し、気に入った形ができたなら自分と一緒に写真に撮ってもらって活動を残すようにした。その際、撮影者は相手に気に入った理由を質問し、答えを聞いた後、形の多様さや組み合わせ方などの面白さや別の工夫について思いついたことなどを伝えた。【記念写真撮影】そうすることで、自分の形について振り返ることができ、もっとよくしようとしていた。また、今までの活動から子供たちが見付けた新聞紙の形を変える造形的な活動の例を掲示したり、自由に試せる場を準備したりした。（支工夫が思いつかない子供には、造形的な活動の例を見ながら試させ工夫を考えられるようにした）教師は、様々な形を組み合わせたり、思いついたイメージを表そうと表し方を工夫したりしている子供、同じ形でも種類が多いことや人によって感じ方が違うことに気付いた子供を称賛した。その後「形が面白くなってきたね。キラリン眼鏡で見てみよう」と声をかけ、活動3へつないだ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">メタ認知の基となる様相</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>C1：僕の写真撮って。</p> <p>C2：お勧めポイントはどこかな。</p> <p>C1：大きな花束だよ。何枚もぐしゃっと丸めて包んだら花束になったよ。</p> <p>C2：すごい。プレゼントだね。たくさんつくって並べてもいいね。何か別のものにもなりそう。</p> <p>C1：ありがとう。もっとつくろうかな。</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> </div> </div>
<p>〈学習活動3〉 上から全体の形を俯瞰的に見て、見付けた形等を交流する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">メタ認知の基となる様相</p> <p>T：キリンになって上から見ると、新しい面白い形が見付かったかな。</p> <p>C3：C4さんのお化け屋敷みたいな家がいいです。</p> <p>T：これかな。C4さん、お勧めはどこかな。</p> <p>C4：新聞紙を破ってぼろぼろにして垂らしたところです。お化け屋敷みたいな家になりました。</p> <p>T：ぼろぼろにして垂らすのはお化け屋敷のイメージにぴったりですね。よく考えたね。C3さんは、どうして面白いと思ったのかな。</p> <p>C3：僕たちのお化け屋敷と壁が違うから面白い。</p> <p>C5：破ったところからお化け役が出るといいよ。</p> <p>T：もっと他にも工夫ができそうだね。</p> </div>

	<p>で、友達の作品に関心が薄い子供（C6）が、上記のやりとりを聞いて同じイメージでも違う形ができたことに気づき、意欲的に自分と友達の形の違いを見付けようとしていた。（支形を見て支援員が感じたことを伝えた後、同様に感じたかを尋ね、その理由を問うことで、面白さ見付けにつないだ）</p>
<p>〈学習活動4〉 表し方を工夫してつくる。</p>	<p>キラリン眼鏡タイムで新しく見付けた形やイメージから、自分の形をもっと面白く変えようと、形をつくりかえる時間を設定した。ステージに上がって形を見たい子供は、必要に応じて上がって見るように声をかけた。（支イメージが広がらない子供に、今までしてきた工夫を振り返らせ、製作への見通しをもてるようにした）</p>
<p>課題解決後 〈学習活動5〉 本時の学習を振り返る。</p>	<p>まず、「できたこと」の観点を示し、ペアで振り返らせた後、全体で発言させて称賛することで、自分の形がもっと面白くなったと感じられるようにした。その上で、「友達にアイデアをもらえたか」「キラリン眼鏡で見て工夫を見付けたか」という観点を示して、友達と協働したり俯瞰的に見たりすると、形がより面白くなったことを表出させ共有した。【質問タイム】今までの振り返りで協働のよさを感じてきた子供たちは、自発的に発言していた。協働の観点での全体交流の様子は以下の通りである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">メタ認知の基となる様相</p> <p>T：それでは先生から質問しますよ。今日できたことは何ですか。発表してください。</p> <p>C7：お化け屋敷をつくりました。C8さんがお化け屋敷にしようって言ったからみんなでつくりました。</p> <p>C8：C9さんのぼろぼろの家とくっつけて大きくして、もっと怖くできました。</p> <p>T：隣の人と形をつないで大きくしたから、イメージがもっと様々に湧いて、こんなに怖いお化け屋敷になったんだね。それに、友達と相談しながらつくるともっと面白い形ができて、友達パワーでみんなにここになったんだね。友達パワーをもらえた人は、他にもいますか。</p> <p>C：はい。（ほとんどが挙手）</p> </div> 

6 考察（○：成果，●：課題）

子供たちにとって身近で、形を変えることを思いつきやすい新聞紙をたくさん用意しておき、それを材料に広い体育館で思いきり活動できるように題材構成を行った。子供たちは、つくる過程そのものを楽しむ中で、より面白い形をつくろうと、工夫しながら形をつくりかえた。また、本題材が終わった後も、家庭で新聞紙の形を変えて人形をつくる等、造形的な活動をして楽しんだ子供が多く、学び続ける子供の姿が見られたと言える。

- お気に入りの形を友達と撮影し合うことで自分の考えを広げたり深めたりすることができた。また、写真に製作の課程を残すことで、振り返りの際に自己の変容を明確に自覚することができた。
- キラリン眼鏡をかけると、子供たちは体育館全体にある形を俯瞰的に見ようとする気持ちになり、自分のつくった形を見直したり、友達の形の面白さに気付いたりすることができた。
- 教師が友達との関わりや俯瞰的に見るよさについての観点を明確にした質問をして全体に広げることとで、そのよさを意識したり、活動を振り返って形が面白くなった理由を感じたりできてきた。
- 記念写真撮影やキラリン眼鏡タイムの活動のよさを十分理解できていない子供もおり、自分の活動に夢中になり過ぎて写真を撮り忘れていたり、ステージ上から自分の形だけを見たりする様子が見られた。今後、同様の活動を繰り返し、そのよさを実感させる機会を継続することが必要である。